

CAR No.35

Beyond

スーパーFJ
アルビレックス・レーシング・チーム
PRESS RELEASE
2011/4/24



スーパーFJ 富士チャンピオンレース 第1戦
福島選手富士初出場で完走

空には雲が広がり太陽が隠れ少し肌寒い中、富士チャンピオンレースシリーズ第1戦を週末に迎える金曜日。フリー走行を3本走行。今回がスーパーFJ デビューレース。レースまでの練習量は少なく、金曜日のフリー走行で少しでもタイムアップできるように走行ラインやブレーキング、他のマシンとの比較を行い、走り方を修正してレースに備えた。

- 4月22日 フリー走行 1本目 9:45~10:15 天候 曇り 路面状況 ドライ 湿度52% 気温13℃ 路温18℃
レースウィークの金曜日、走行台数も増えた。いろいろと速いマシンの後ろにつき、ラインをトレースしたり、ブレーキングポイントを真似してみたりと、とにかく自分に足りないところを吸収した。走行終了間際に走り方をまとめて1' 56" 80を記録。
フリー走行 2本目 13:20~13:50 天候 曇り 路面状況 ドライ 湿度55% 気温14℃ 路温18℃
1本目から少し時間をおきイメージを整理しつつ走行開始。苦手意識があり実際にタイムも遅いセクター3(ダンロップコーナーから最終コーナー)に重点を置き走行した。
フリー走行 3本目 15:45~16:15 天候 曇り 路面状況 ドライ 湿度57% 気温14℃ 路温16℃
初めてのNewタイヤで最初のうちは戸惑うものの1' 54" 98とタイムを更新した。少しずつ修正が良い方向に進んでいき、練習に使っていたタイヤに限界を迎えたためNewタイヤを装着して走行。良いタイヤで走行した時に改めて分った問題点なども出てきて走行時間一杯に走行したが、感触は悪くないものの、しっくりと来る何かがなかった。
- 4月23日 フリー走行 1本目 路面状況 ウェット 天候 雨 予選前のフリー走行では、濡れた路面でのマシンの挙動や雨の中でのコースの特性などをひたすら探った。雨は得意だが、フォーミュラで雨の走行経験が貧しいので、1つのコーナーも無駄にしないように周回を重ねた。途中、クラッシュ車両を回収するために赤旗中断となり、30分の走行枠が20分に短縮されたが、走ってみての感触は思っていたより良かった。
- 予選 11:05~11:25 路面状況 ウェット 天候 曇り 湿度87% 気温14℃ 路温13℃いよいよ予選が始まった。フリー走行の時の良い感触が残っており、順調にタイムを更新していく。一時は5番手タイムをたたき出すが、低速車両につかまり、クリアラップが取れず10番手まで落ち不完全燃焼のまま予選は終了した。Best time 2' 06" 750 グリッド 10 (24台出走)
- 4月24日 決勝レース 9:15~ 路面状況 ドライ 天候 晴れ 湿度71% 気温12℃ 路温16℃ スタートでエンジンをストールさせてしまい出遅れる。前方で2台がコースアウトし13番手に上がる。その後、金曜日からの課題であったセクター3で後ろにびったりと着かれてしまい、最終コーナーでインを刺されストレートでオーバーテイクされた。すぐにスリップを使おうとするも置いていかれ、1コーナーが過ぎた頃には距離が空いてしまった。自己ベストの1' 54" 733を更新するもファイナルラップにプリウスコーナーで白煙を上げスローダウンする車を抜かして16位でチェッカーをうけた。
Best time 1' 54" 733 最終順位 16位

福島選手コメント レースウィークの3日間を通じて、今シーズンが少し見えた気がした。いま、言える事は練習不足である。走行ラインもブレーキングポイントもまだまだ正確ではない。コーナリング時の『ロール』に意識を置いている。良いイメージは出来ているが、なかなかドライビングに表すことが出来ない。第2戦は、前回より1つでも上の順位、入賞圏内を目指していきたい。

中村監督コメント 走行ラインもブレーキングポイントもまだまだ正確ではない事を認識した。イメージ通りに走行できる様、練習を重ね次回は表彰台にあがるよう努力いたします。ご声援御願いたします。



Nankai Plan Co.,Ltd.



鈴木会計 埼玉・川口
http://www.tcnf.com/sds

